2023年3月期　第1四半期
決算補足資料

2022年8月5日

京阪ホールディングス株式会社

（ 東証プライム市場 9045　https://www.keihan-holdings.co.jp/）

2023年3月期　第1四半期

決 算 の 概 要

連結損益計算書

- 不動産業で前年同期の開発案件販売の反動があったものの、緊急事態宣言発出の影響を受けた前年同期と比べ、運輸業やレジャー・サービス業において一定の回復が見られたことなどにより、増収となり、営業利益、経常利益も増益。さらに、固定資産売却益の増加もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期を大きく上回りました。

（単位：百万円）

	2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減	増減要因
営業収益	64,039	58,751	5,287 (9.0%)	
営業利益	6,252	1,592	4,660 (292.7%)	
営業外収益	1,060	1,135	△75	
営業外費用	568	679	△110	
経常利益	6,743	2,048	4,695 (229.3%)	
特別利益	4,583	152	4,430	固定資産売却益+4,378
特別損失	114	232	△117	新型コロナウイルス感染症による損失△183
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,060	781	7,278 (930.8%)	
受取利息及び配当金	281	227	54	
支払利息	481	521	△40	
金融収支	△200	△294	94	

セグメント情報

（単位：百万円）

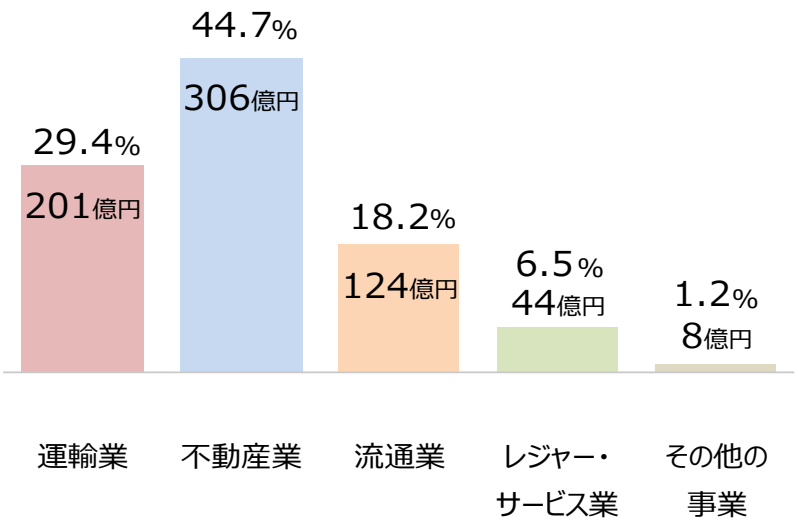
		2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減額	増減率
運輸業	営業収益	20,107	15,907	4,200	26.4%
	営業利益	2,190	△1,422	3,612	–
不動産業	営業収益	30,606	32,002	△1,396	△4.4%
	営業利益	5,570	6,095	△524	△8.6%
流通業	営業収益	12,439	12,719	△280	△2.2%
	営業利益	464	102	362	354.9%
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	営業収益	4,455	1,767	2,688	152.1%
	営業利益	△1,489	△2,859	1,370	–
その他の事業	営業収益	828	687	140	20.5%
	営業利益	△307	△370	62	–
全社・消去	営業収益	△4,398	△4,333	△65	–
	営業利益	△176	47	△223	–

セグメント情報（構成）

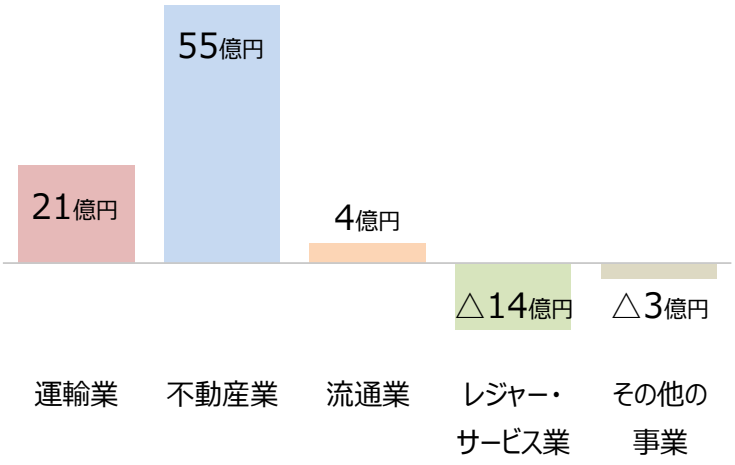
【連結対象会社】40社（対前年同期　1社減）【持分法適用会社】2社（対前年同期　増減なし）

運輸業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス　他12社
不動産業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物　他7社
流通業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ＆リゾーツ、琵琶湖汽船　他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

＜セグメント別営業収益＞



＜セグメント別営業利益＞



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。%は各セグメントの構成比を表しております。

セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

	2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	20,107	15,907	4,200	26.4%
鉄道事業	16,287	13,001	3,286	25.3%
バス事業	5,561	4,578	983	21.5%
消去	△1,741	△1,672	△69	–
営業利益	2,190	△1,422	3,612	–
鉄道事業	1,760	△1,069	2,829	–
バス事業	424	△357	782	–
消去	5	4	1	–

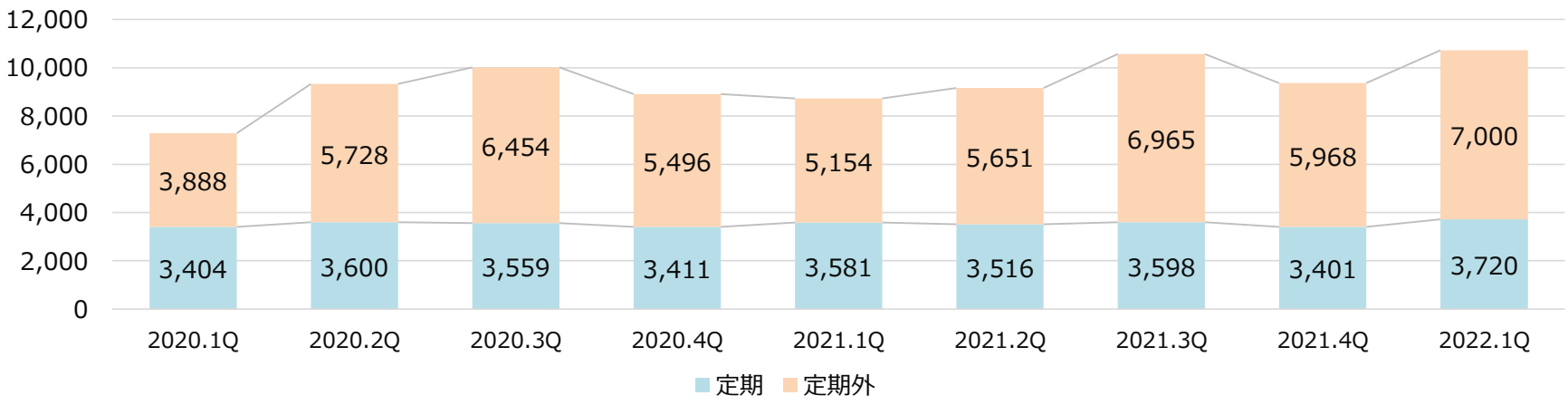
（主な増減要因）

- 鉄道事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期と比較して輸送人員が増加したことなどにより、増収・増益。
- バス事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期と比較して乗合収入が増加したことなどにより、増収・増益。

運輸成績 京阪電気鉄道

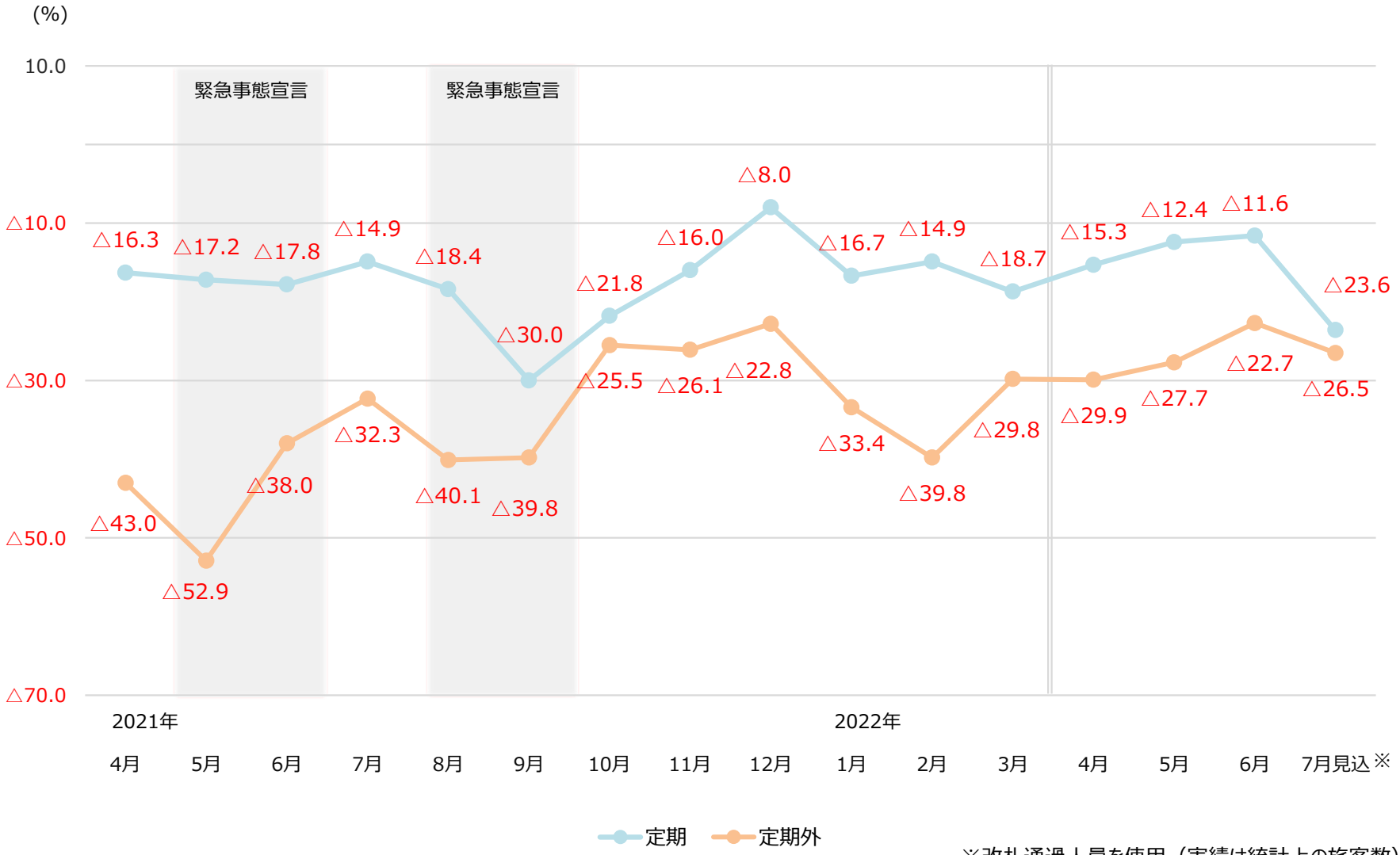
	2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客収入	10,720	8,735	1,985	22.7
定期外	7,000	5,154	1,845	35.8
定期	3,720	3,581	139	3.9
	千人	千人	千人	%
旅客数	61,542	53,010	8,532	16.1
定期外	28,514	21,551	6,963	32.3
定期	33,028	31,459	1,568	5.0

旅客収入の推移（百万円）



運輸成績 京阪電気鉄道

旅客数 対2019年比



※改札通過人員を使用（実績は統計上の旅客数）

セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

	2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	30,606	32,002	△1,396	△4.4%
不動産事業	26,450	28,375	△1,925	△6.8%
不動産販売業	18,155	20,940	△2,785	△13.3%
不動産賃貸業	7,278	6,508	770	11.8%
その他	1,016	926	90	9.7%
建設事業	5,948	5,142	805	15.7%
消去	△1,792	△1,515	△276	–
営業利益	5,570	6,095	△524	△8.6%
不動産事業	5,698	6,135	△436	△7.1%
不動産販売業	2,084	2,977	△892	△30.0%
不動産賃貸業	3,498	3,057	441	14.4%
その他	115	101	14	14.0%
建設事業	△43	△64	20	–
消去	△84	23	△108	–

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、「ザ・ファインタワー大手前」などマンション販売の増加はあるものの、前年同期の開発案件販売の反動が大きく、減収・減益。
- 不動産賃貸業は、不動産ファンド収入の増加などにより、増収・増益。

セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

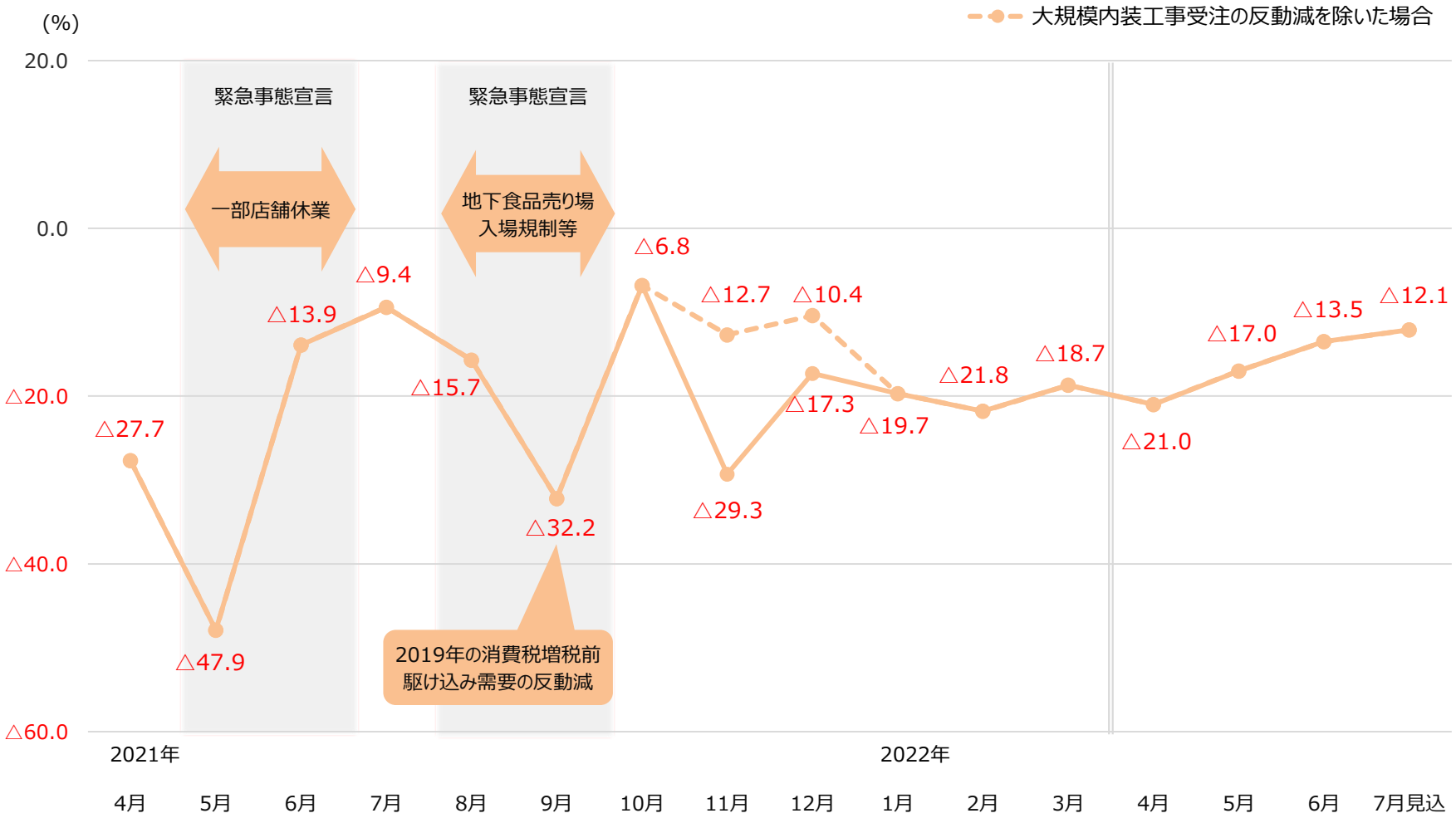
	2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	12,439	12,719	△280	△2.2%
百貨店業	4,740	4,486	254	5.7%
ストア業	3,757	4,332	△574	△13.3%
ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞﾓｰﾙの経営	3,182	2,794	387	13.9%
その他	1,081	1,411	△330	△23.4%
消去	△323	△306	△16	–
営業利益	464	102	362	354.9%
百貨店業	△73	△202	129	–
ストア業	139	164	△25	△15.5%
ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞﾓｰﾙの経営	342	141	200	142.2%
その他	47	△23	71	–
消去	8	23	△14	–

（主な増減要因）

- 百貨店業やショッピングモールの経営は、緊急事態宣言が発出された前年同期の休業や時短営業の影響の反動により、増収・増益。
- ストア業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動はあるものの、京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業に伴い前年12月に閉店したフレスト香里園店の影響などにより、減収・減益。

セグメント情報（流通業）

百貨店業（京阪百貨店）　営業収益 対2019年比



※収益認識会計基準適用前の営業収益による比較

セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

		2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益		4,455	1,767	2,688	152.1%
	ホテル事業	3,697	1,335	2,362	176.9%
	レジャー事業	764	437	327	74.7%
	消去	△6	△6	△0	–
営業利益		△1,489	△2,859	1,370	–
	ホテル事業	△1,521	△2,694	1,173	–
	レジャー事業	27	△168	196	–
	消去	4	4	0	–

ホテル稼働率

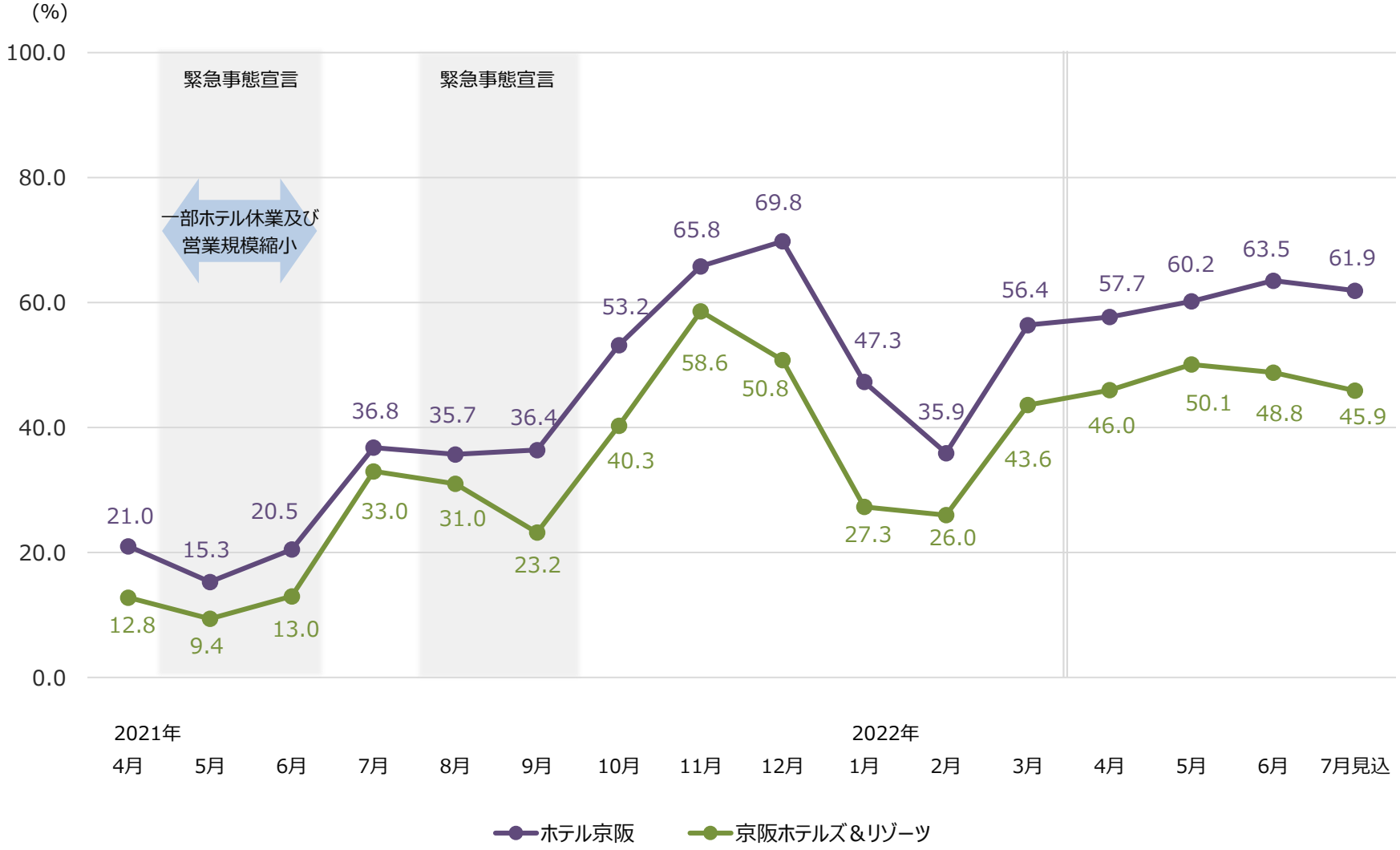
	2023/3 1Q実績	2022/3 1Q実績	増減
ホテル京阪	61.5%	18.1%	43.4pt
京阪ホテルズ＆リゾーツ	48.3%	11.7%	36.6pt

（主な増減要因）

- ホテル事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期の休業や営業規模縮小の影響の反動などにより、増収・増益。
- レジャー事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期の営業規模縮小の影響の反動などにより、増収・増益。

セグメント情報（レジャー・サービス業）

ホテル事業　客室稼働率



連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2023/3 1Q実績	2022/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	191,122	186,794	4,327	現金及び預金+5,901
固定資産	549,197	550,466	△1,269	建物及び構築物△1,448
資産合計	740,319	737,261	3,058	
流動負債	136,357	127,477	8,880	1年内償還予定の社債+10,000、 未払法人税等△2,336
固定負債	341,378	353,907	△12,529	社債△10,000、 長期借入金△2,375
負債合計	477,736	481,384	△3,648	
純資産	262,583	255,876	6,706	利益剰余金+5,384 ※自己資本比率34.8%（+0.7pt）
負債純資産合計	740,319	737,261	3,058	
有利子負債	343,959	345,311	△1,352	借入金△1,352

2023年3月期

業 績 予 想

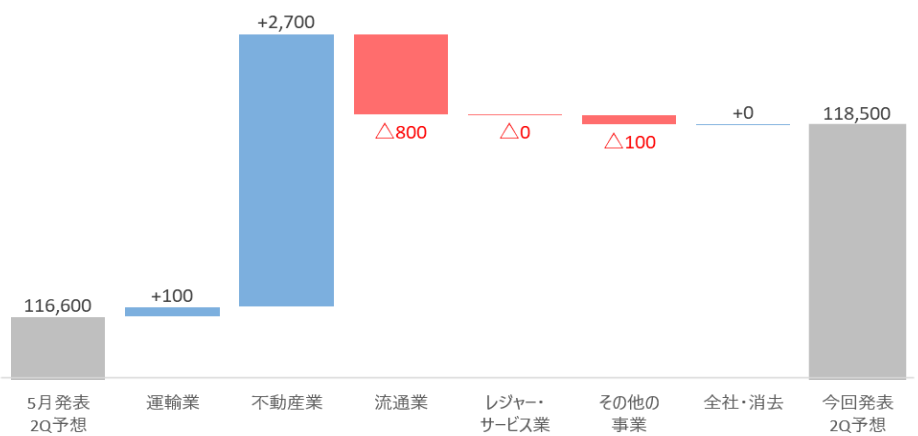
連結損益計算書（業績予想）

- 上期の予想は、不動産販売業の好調に加えて、運輸業における修繕費などコストの見直しもあり、増収・増益。さらに、営業外損益では雇用調整助成金の増加を見込むほか、特別損益でも固定資産売却に係る利益が増加することから、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初の予想を上回る見込み。
- 通期の予想は、当第1四半期の業績及び足元での新型コロナウイルス感染症再拡大や原油価格高騰の影響等を検討した結果、当初予想を据え置き。

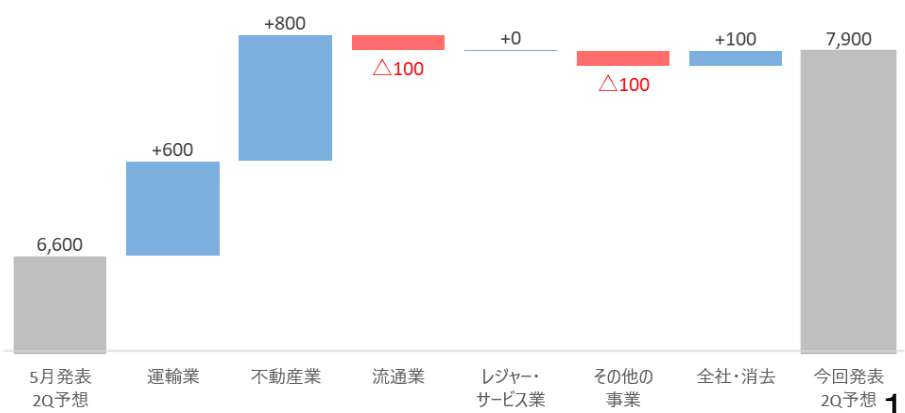
（単位：百万円）

	2023/3 今回発表2Q予想	2023/3 5月発表2Q予想	増減額	増減率	2022/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	118,500	116,600	1,900	1.6%	118,564	△64	△0.1%
営業利益	7,900	6,600	1,300	19.7%	2,793	5,106	182.8%
経常利益	8,000	6,200	1,800	29.0%	3,727	4,272	114.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,600	4,200	4,400	104.8%	1,950	6,649	340.9%

セグメント別営業収益の増減



セグメント別営業利益の増減



お問い合わせ先

京阪ホールディングス株式会社

グループ管理室経理部

TEL 06-6944-2527